

運動会の全校練習から

10月16日(木)の朝の時間から1校時にかけて、運動会に向けた1回目の全校練習を行いました。全校が揃って行動することにおいては、避難訓練もそうですが、その状況を考えた行動ができる子供たちが多いと思います。個人差は、もちろんありますが、多様性を大切にしながら、一人一人の子供たちが安心して、自分の課題に挑戦したり演技や競技に頑張ったりすることができるように指導、支援しています。

そのためにも、教員同士、また、各ご家庭と様々に情報共有し、手立てを講じながら運動会の大成功に向けて取り組んでいるところです。保護者や地域の皆様、学校と連携している各関係機関の皆様のご理解とご協力の基に、六小の運動会が教育活動の大きな柱として実施できることに、心から御礼を申し上げます。ありがとうございます。

運動会当日を目指して、子供たちと頑張っています。



六小サポーターの協力に感謝しています！

七小から六小に異動してきて、半年が過ぎましたが、改めて感謝申し上げたいところとして、六小サポーターのご協力に対してです。学校と連携して、子供たちの健全な育成を目指してご協力いただいていることに、心から御礼を申し上げます。

七小時代には、朝の登校時の見守りに努めていただいていた、七小地域見守り会があり、子供たちの安全と安心に大変に貢献していただきました。

六小にある六小サポーターにおいては、学校教育の根幹である授業や様々な教育活動等において、幅広いところでご活躍いただいております。直近では、低学年の商店街巡り等のサポート、中学年の地域学習の引率や子どもとの関わり、この先には、高学年のキャリア教育に関わるゲストティーチャー等、様々に地域学校協働活動推進員の小野さんに相談させていただくとともに、登録いただいている六小サポーターの皆さんに支援のお知らせをしております。



特に今年度は、コミュニティ・スクールとして、地域と学校が協働することを形作る上においても、有難い限りです。これからも、保護者や地域の皆様には、ボランティアとして関わっていただける時には、積極的に関わっていただき、学校を直接知る機会としていただくとともに、学校を直接的に支える方々として、

ご協力を賜りますよう、引き続き、よろしくお願いいたします。

育成会との連携から

育成会の代表の方には、コミュニティ・スクールとして設置された学校運営協議会にご参加いただいておりますが、育成会の皆様も定例会を開催し、子供たちが楽しく取り組めるイベント等の検討や開催に向けた取組などを話し合っておられます。私も、時間の許す限り定例会に参加し、その時その時の学校の様子をお伝えすることや、育成会の様々な取組に学校として協力できること等、協働した取組を確認させていただいています。



直近では、11月4日(火)からの俳句大会の取組や、11月8日(土)の秋のお楽しみ会の開催が

あります。すでにお知らせしておりますが、たくさんの子供たちが俳句に挑戦したり、お楽しみ会に参加したりしてくれるよう、先生たちも声掛けしています。保護者の皆様も、お声掛けいただき、育成会の取組にご協力をいただけますようお願いいたします。

これからも、学校と育成会の協働した取組が充実していくよう、連携を強化し、高めていきたいと思ひます。この場で、改めまして育成会の皆様に、御礼を申し上げます。ありがとうございます。

保護者の皆様との連携



令和7年度も2学期の中盤となりました。これからは、各学年が、学年の発達段階や身に付ける必要のある力について振り返りを行いながら、これからの教育活動を通して育てたり、高めたり、深めたりしていくことになります。

この先、11月には、個人面談（希望制）も設定しておりますので、ご家庭とお子様の状況を振り返っていただきながら、双方向で確認するとともに、具体的にどんな学びや力を高めていくのか、どんな取組を行っていくのか等、共有させていただければと思ひます。

学校は、どこまでも学びの場です。

基本的な生活習慣の学び、知識や理解、判断、表現等における学習の学び、自立や集団生活をよりよくして過ごすことができるなどの生きる力の学び等々、たくさんの学びをする場が学校というところでは、それぞれの学年・学級やはばたき、フレンド等での学びが、様々な場面や取組の中で活かすことができるようにするためには、ご家庭との連携と協力が不可欠です。

学校とご家庭が協働し、子どもの育成と学びを高めていくことができるように、保護者の皆様と各教員が方向性や考え等を一致させ、同じ目的や目標をもって進んでいけるように、これからも努めてまいります。引き続きのご理解とご協力をお願いいたします。

【校長のつぶやき】

この校長室便りも、六小で発信して9号となりました。まだまだ、多くのことをお伝えしたいと思ひますが、皆様に読んでいただくだけでも有難いところですので、少しずつ丁寧に発信していこうと思ひます。

先日、10月12日（日）にNHK合唱コンクール(全国大会)が行われました。小学校の部で、新規採用時の同期の仲間(現在、校長先生です)の学校が入賞しました。自分も合唱をずっと続けてきましたし、様々な年代で各種コンクールに向けて取り組んだ思い出もあり、自分事のように感じ、とても嬉しい思い出になりました。



私の場合、NHK合唱コンクールでは、県大会止まりばかりでしたので、全国大会には出たことはありませんが、社会人になってからは、いくつか入賞したこともありましたが、時には、海外のコンクールのメンバーとしても参加したこともあります。その時には、1位なしの2位でした。

コンクールには、独特の緊張感と高揚感があり、今も忘れられないものの1つです。その後に、舞台上で歌うことや指揮をすることにおいては、緊張感があることで自分の力を発揮できるようになりました。逆に緊張感や高揚感がない場面では、あまりうまくできなかったようにも思ひます。

適度に負荷のかかる経験は、その人の力を大きくする要因であり、その負荷をどう捉えるかが大切になるように思ひます。また、これは、その人によって感じ方が違うことでもありますので、誰もがそうだとは言えませんが、様々な経験や体験が力になることは言えるように思ひます。

最後に私の好きな名言の1つです。「波浪は障害にあうごとに、その頑固の度を増す」